

大阪緑涼高等学校
同窓会会報

第16号

ふじなみ

題字・北本一光氏

2024年12月発行

発行：大阪緑涼高等学校同窓会ふじなみ会事務局

〒583-8558 藤井寺市春日丘3丁目8番1号

TEL (072) 955-0718

FAX (072) 955-5211



ご挨拶
会長 嶋本 恵
第43期(平成3年卒業)

同窓生の皆様におかれましては、ますますご清
祥のこととお慶び申し上げますとともに、各方
面、各立場にてご活躍のことと重ねてお慶び申し
上げます。

さて、2020年の年明け以降、新型コロナウイルス
の影響によって活動の中止や変更を余儀な
くされておりましたが、令和5年5月にコロナが
5類に移行されてから、一気に様々な活動が再開
し、現在は例年の活動に復帰しております。

また、3年毎の総会兼懇親会の企画・実施です
が、コロナ禍の為、延期せざるを得ませんでした
が、昨年5月に「総会・懇親会」を4年ぶりに開
催いたしました。当日は府外からも多くの同窓生
や第1期生の大先輩も駆けつけてくださいまし
た。また今回は母校での開催ということもあり約
200名近い同窓生と恩師らが出席し、楽しいひと
ときを過ごすことが出来ました。

また、校内を見学された皆様から、校舎が新し



ご挨拶
校長 西本 真治

卒業生の皆様には、お元気でお過ごしのことと
お慶び申し上げます。また、平素は、本校教育に
ご支援を賜りお礼申し上げます。

令和5年4月より、星野智子校長の後任として
八代目校長を拝命しました。

わたしは昭和63年、大阪女子短期大学附属高等
学校に時間講師として着任しました。以後、若干
の紆余曲折はありましたが、平成15年に教諭とし
て大阪女子短期大学高等学校に着任しました。本
校でも教頭、副校長の職についていましたが、校
名が大阪緑涼高等学校となり調理製菓科が始まる
年に大阪商業大学高等学校に管理職として異動と
なりました。二度と藤井寺には戻れないと思っ
ていた矢先、大阪緑涼高等学校へ5年ぶりの異動と
なりました。異動前の大阪緑涼高等学校は女子校
であったため、共学となった学校で校長職が務ま
るのか不安ではありましたが、現場の教職員の皆
様の力添えがあり、何とか務めております。

平成21年より、ふじなみ会会長をお引き受け
いただきました、嶋本恵様をはじめ役員の皆様
には、公私共にご多忙の中、母校のために役員を
引き受けいただきましたことと有難うございます。改め

くなったね、運動場がきれいになったね、ここは
昔のままで変わらない…などの声を聞かせていた
だきました。先生方、事務の方にはお世話おかけ
しましたが、学校で開催して良かったと思いまし
た。

今後とも幅広い年代の会員に、積極的ににか
わっていただけることを切に願うとともに、皆様
からの変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

最後になりますが、学校の近況をご報告します。

在校生は5コースでそれぞれ特徴的な学びを体
験していて、生徒たちの満足度も高いと聞いてい
ます。クラブ活動は、11の運動部と13の文化部で
生徒たちが活動しています（お手数ですが、詳細
は学校HPをご覧ください）

最近のトピックスとして、第15回全国和菓子甲
子園大阪府代表として近畿大会優勝・全国大会準
優勝を果たしたという嬉しいニュースも聞いてい
ます。後輩たちの活躍を知り、同窓会としてもう
れしく思っています。

母校の発展と皆様のますますのご健勝とご活躍
をお祈りして結びといたします。

てお礼申し上げます。

大阪では少子高齢化が進んでいます。少子化と
いいますが、実際には地理的にバラツキが大き
く、子供の増えている地域もあれば、極端に少子
化が進んでいる地域もあります。大阪緑涼高等学
校のよき理解者であり支援者である地元南河内
は、少子化が急速に進んでおり大阪府の私学授業
料無償化の施策に伴い、定員割れの府立高校の統
廃合が進んでいます。本校に於いても併願受験の
生徒の入学数が一桁となり入学生徒の確保に、大
いに苦しんでいます。かつて入学生徒数が100
人に届かなかった時期もありましたが、最近では
200名前後の入学生を迎えることができていま
す。特筆すべきは、近隣・沿線の中学校からの受
験生が多くなっていることです。日頃から本校生
徒を見ている保護者の支持を得ている結果だと嬉
しく思っています。

また、入試説明会などの募集行事で、「〇〇年
卒の〇〇です。今年、娘が受験です」と声をかけ
ていただくことも多くなり、卒業生の皆様に支え
られて今日があると感謝しています。

学校運営は、在校生、保護者、教職員の頑張り
に尽きるのですが、卒業生の皆様のお力添えも
あって、成果が出るものだと思います。重ね
て、皆様のご支援にお礼申し上げます。

すでにご承知かもしれませんが、令和6年度入

右下へ続く、

学校の近況

(令和5年度報告)

ふじなみ会会員の皆様には、平素より母校生徒
たちの活躍を見守っていただき、心から感謝申し
上げます。本校卒業生徒数は、今春卒業した
217名を加え、19,827名となりました。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5
類感染症へと移行したことにより、本校にも学校
行事が戻って参りました。コロナ禍が明けて間も
ない6月に実施された弁論・コーラス大会は、二
日間わたって行われました。弁論大会は本校の
体育館で実施し、各クラスの代表23名が正々堂々
と自分の意見を述べました。1年生はその様子を
リモートでグリーンホールにて鑑賞しました。コー
ラス大会においては、藤井寺市立市民総合会館パ
ールホールにて、練習の成果を発表しました。優勝
したのは、保育系進学コースの3学年合同チーム
ですが日頃から音楽を学び表現しているだけであ
って、美しく正確なハーモニーと、学年を超えての
一体感が発揮されていました。準優勝は男子生徒の方
が人数の多い調理師コースの3年生で、団結力と迫
力が感じられるコーラスでした。また、緑涼祭文化
の部・体育の部も、来場者の制限があったものの
、ほぼコロナ禍以前の形で実施できました。

テーマは「一致団結！最高の思い出を作ろう」
とし、文化の部では各クラスと文化クラブが、そ
れぞれ工夫された作品を発表しました。文化の部
では初の部門別審査が行われ、舞台発表部門では
ソーラン節の演舞、展示部門ではジブリのフォト
スポット、映像部門ではホラー動画「緑霊（りょ
くりょう）」がそれぞれ優秀賞を獲得しました。
体育の部では、クラス合同の7つの団を作り、3
年生が中心となって、すべての種目を本気で取り
組んでいました。新しい競技を加えたり、教員と
共に走ったりと、全員が楽しく参加し盛り上がる
ような工夫がされ、歓声がグラウンドいっぱい
響き渡りました。いずれの行事も、男子生徒が

エーション豊かな制服で、様々なコーディネート
が楽しめる素敵な制服だと思えます。

卒業生の皆様のお子様（お孫様）が本校にご入
学される場合は、さまざまな特典がございます。
どうぞご活用いただきたくご案内申し上げます。

このほかにも、他校にない奨学金制度を用意して
います。ご活用いただければ幸いです。改めて、
紙面をお借りして、皆様のご支援をお願いいたし
ます。

末筆ながら、卒業生の皆様のご多幸をお祈り申
し上げます。

年々増えていることで、女子生徒中心の頃とは雰
囲気が変わってきており、伝統を継承しつつも新
鮮な場面に立ち会うことができました。

宿泊行事においては、数年間実施できなかった
新入生の「コミュニケーションキャンプ」を復活
することができました。入学してすぐに二泊三日
をクラスメイトと共に過ごすことによって、多く
の生徒が高校生活をスムーズにスタートすること
ができたように思います。修学旅行については、
前年度に引き続き行き先を「関東方面（伊豆高
原・東京・舞浜）」とし、新幹線にて移動しまし
た。伊豆高原では自然に触れ合い、東京では18歳
成人となる学年であることから、国会議事堂や迎
賓館などを訪れ、成人教育を行いました。

クラブ活動においても、全国大会出場を目指す
クラブ、数々の試合やコンクールにチャレンジし
ているクラブ、他校の生徒や他国の人々と交流を
深めているクラブ、緑涼祭での披露を目標に地道
に活動しているクラブなど、さまざまに活動し、
活気に溢れています。第14回全国和菓子甲子園で
は、2年生調理師コースの2名が全国大会優勝を
果たしました。また地域との交流として、毎年藤
井寺市のふれあいまつり等に、保育系進学コース
や美術部などの文化クラブが参加し、活躍してい
ます。

令和6年3月の卒業生の進路につきましては、
系列校である大阪商業大学21名を含む四年制大学
に130名、短期大学に11名、専門・各種学校に
70名が合格し、30名が就職内定をいただきました。
進路決定に重要なオープンキャンパスや大学
説明会などがコロナ禍から緩和され開催されるよ
うになり、多くの生徒が参加しました。就職につ
いては、大阪万博に向けた準備もあるのか、過去
最大の求人者数となりました。

このようにさまざまな場面で活躍する後輩たち
は、卒業生である皆様からの励ましが大きな力に
なります。今後も、大阪緑涼生に変わらぬ応援を
いただきますよう、心からお願い申し上げます。

ふじなみ会 総会報告

令和5年5月21日(日) ふじなみ会総会が開催されました。新型コロナウイルスが蔓延し、本来令和3年に開催される予定でしたが、2年遅れの開催となりました。今回は母校を会場として谷岡学園理事長谷岡一郎先生をはじめとし、卒業生、恩師、教職員、学園関係者約200名の方がご出席くださいました。男女共学になってから初めての総会でもあり、男子の卒業生も出席いただき、いつもとまた違った雰囲気での総会が始まりました。

会場内では、「懐かしい！何十年振り？」とか「わー元氣」などの弾んだ声が聞こえていました。母校開催は14年振りです。母校開催とあって卒業以来初めて出席された方も沢山いらっしやいました。

そんな中、総会が始まり嶋本会長の挨拶、そして、新校長の西本真治先生からのご挨拶をいただきました。続いて谷岡学園理事長谷岡一郎先生からもご挨拶を頂戴いたしました。また、母校幹事として、ご協力いただいています松田裕史先生より、学校の近況等ご報告していただきました。

続いて議事に入り、令和4年度ふじなみ会事業報告、会計報告、会計監査報告及び令和5年度事業計画(案)、予算(案)各議事に皆様よ



りご承認いただきました。また、ふじなみ会会則改正及び会則運用細則は皆様のご承認をいただき、大阪緑涼高等学校のホームページふじなみ会にて掲載しております。

続いて、令和5年度役員紹介では名誉会長に西本真治校長、母校幹事に松田裕史教頭、勝本優子先生、事務でお世話になります事務長にご協力いただくことになりました。以上第一部総会は閉会しました。

続いて、第二部の講演会に移り、なわの瀬戸内寂聴こと福生院光信尼先生に講演していただきました。先生は全国各地に行かれ沢山の方のお話を伺ってこられました。先生の言葉で元気づけられたり、勇気をいただいた方が沢山いらっしやるとお聞きしています。講演のなかで「自分を一番大切してください」と言われたことが心に残っています。

第三部の懇親会は学生食堂(カフェテリアパス)にて元校長尼子先生の乾杯のご発声で始まりました。皆様和やかに会食されていました。また、学内見学も自由にしていただき、母校自慢の森の小道や新しい校舎、グラウンドなどゆつくりと見ておられました。楽しい時間はすぐに経ちお開きの時間となりました。最後に恒例になりました校歌を全員で合唱し閉会いたしました。今回の総会に関しご尽力いただきました全ての方々に感謝申し上げます。今回の総会は令和8年5月を予定しています。皆様のご参加を役員一同お待ちしております。



総会に参加して

増井 美恵子
第26期(昭和49年卒業)

令和5年5月21日(日)藤井寺駅の改札を通った瞬間、67才の私が18才にタイムスリップ。
ふじなみ会同窓会(総会)に参加する為、学校迄の通学路を歩きながら藤井寺球場あったよなあ?当時近鉄で人気だった「太田幸司選手」がこの通学路をランニングしてたなあ。そうそうお母さんも見かけたなあ。いろいろな思い出しながら学校に到着。

「大阪緑涼高等学校」大阪女子短期大学附属高校ではなく、寂しさを感じながら学校時代遅刻しそうなった時、教室迄の少しの登り坂を走った思い出。

校内の建物は変わっていましたが、「谷岡登先生之像」が私を迎えていただきました。この前で友人とフョーリーブスのダンスの真似をして写真を撮った思い出。

食堂(旧)での「うどん」食べたいなあ、見学途中体育館で男女の後輩達と遭遇し「こんにちは」と声を掛けてもらった。男女共学になったんだ、ちよつと羨ましい(笑)

今迄何度か同窓会(総会)の案内をいただいていたが、仕事や両親の介護等気持ちに余裕なく両親も見送り、私も定年退職を迎える事が出来、今回母校での開催でしたので参加させていただきます。

講演会の福生院光信尼先生のお話興味深く三部の懇親会では同級生の上田(旧姓・坂部さん)俊子副会長に49年振りに高校時代の愛称まあちゃんと言を掛けられ照れてしまいました。

S49年3月卒業生3年5組山根先生担任の皆様、お変わりないですか?残念ながら山根先生はお亡くなりになりましたが、皆様逢いたいですね。

次回お逢いできたら幸いです。

最後に「ふじなみ会」の役員様、今回母校で開催、講演等でお世話になりました。良い思い出になりました。本当にありがとうございました。



緑涼祭に参加して

副会長 羽田 幸子
第33期(昭和56年卒業)

九月二十九日緑涼祭に参加させていただきました。今回の参加は、コロナが明け男女共学になってから初めての緑涼祭だったので、とても楽しみにしていました。

娘も卒業生という事もあり、娘家族も一緒に参加させていただきました。孫が楽しめるようなイベントや工夫されている模範店が沢山あり、あつという間に時間が経っていました。

お天気にも恵まれ汗ばむ陽気でしたが、たくさんの方が来て下さって模範店も大盛況で長蛇の列。各教室での催し物も人気のものは一時間待ちのものまであって、この日のために学生さん達が一生懸命考えて準備してきた甲斐があったと思う、とても嬉しく思いました。

活気溢れる若いパワーにとっても元気をもらい楽しく充実した一日を過ごす事ができました。

私も娘も高校時代に戻ったような気分になり、とても楽しかったです。



【学校法人谷岡学園創立100周年記念事業】ご寄付のお願い

学校法人谷岡学園は昭和3年(1928年)、創立者谷岡登氏により「世に役立つ人物の養成」という建学の理念のもと、東大阪の地に設立されました。大阪商業大学高等学校の前身となる大阪城東商業学校の開学以来、教育研究活動に邁進し、現在では大阪商業大学、神戸芸術工科大学の2大学をはじめ大阪商業大学高等学校、大阪商業大学堺高等学校、大阪緑涼高等学校(旧大阪女子短期大学高等学校)、大阪商業大学附属幼稚園の6つの教育機関を備えた総合学園に発展いたしました。この間、社会のさまざまな分野に多くの有用な人材を輩出し、現在多くの卒業生が社会の各分野で活躍しています。これは我々の大きな誇り

であり、ひとえに皆様方のご理解とご協力の賜物と心から御礼申し上げます。

令和10年(2028年)、谷岡学園は創立100周年を迎えます。この大きな節目の年を迎えるにあたり、学園が益々発展するための事業として、新しい施設の建設、老朽化した施設の整備など教育研究環境の充実を図っております。学修支援・学生生活支援などの強化、地域貢献に教職員をあげて努力を重ねて参る所存でございますので、皆様方に本学園運営の一層の安定を図るためにご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎

創立100周年を機に学園が益々発展するための事業を展開しています
ご支援、ご協力をお願いいたします

寄付金概要 (募集要項)	名 称	学校法人谷岡学園創立100周年記念事業募金	募集期間	2024年10月1日(火)～2029年2月15日(木)
	目 的	学園創立100周年を迎え学園設置校の教育研究活動の更なる振興と充実を図る	募集対象	記念事業にご賛同いただける個人、法人、団体 (在学生保護者、卒業生、教職員、学園関係者、企業、一般有志など)
	使 途	学園の教育研究活動の振興・充実を図るための教育環境の整備に充当	募集単位	個人:1口 5千円 *5千円未満のご寄付もありがたくお受けいたします。 法人/団体:1口あたりの金額は特に定めておりません。
	目標額	10億円		

申込 および 振込方法	■個人	■法人・団体
	「①インターネット」または「②書面」にてお申込みいただけます。 ① インターネット [クレジットカード決済・コンビニ決済・Pay-easy (インターネットバンキング) 決済] 創立100周年記念サイトからお申込みください。 ② 書面 [銀行振込・郵便局払込み] 必要書類を郵送させていただきますので、寄付金申込フォームもしくは創立100周年記念事業募金係 (TEL06-6782-2279) までご連絡ください。	必要書類を郵送させていただきますので、創立100周年記念事業募金係までご連絡ください。 寄付者の顕彰・特典 ①WEB芳名録への掲載(匿名希望者を除きます) ②寄付金額に応じ返礼品謹呈*詳しくは創立100周年記念サイトをご確認ください。 ①創立100周年記念サイト②寄付金申込フォーム

お問い合わせ先 学校法人谷岡学園 法人本部財務課 創立100周年記念事業募金係 〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL 06-6782-2279 FAX 06-6787-3002

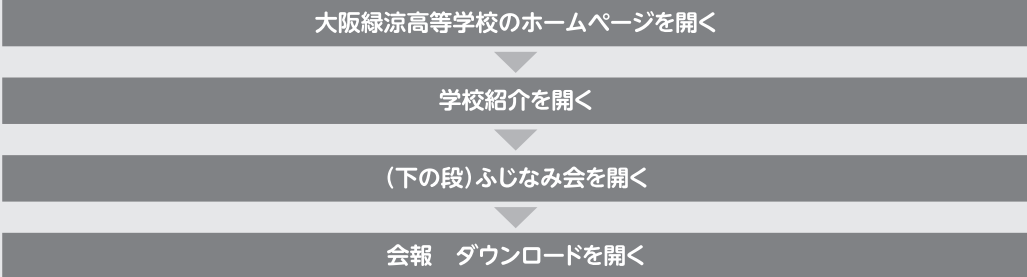
お知らせ 会報ふじなみ発送について

●次号より会報は学校のホームページからご覧ください。

1999年創刊号より会員の皆様方に郵送にてお届けしてきましたが、不明者郵便で戻って来ることが非常に多く郵送料の圧迫になっていました。大変申し訳ございませんが、郵送料の値上げ、スマートフォン、パソコン等の普及により今回(16号)を最後に郵送は終了させていただきます。

次号からは学校のホームページよりご覧ください。ホームページの閲覧により、いつでもどこでもご覧いただけます。

閲覧方法



創刊号から閲覧できます。その他ふじなみ会の活動、役員紹介、会則等閲覧できます。
※住所、氏名等変更があった場合、ご連絡ください。072(955)0718 大阪緑涼高等学校 ふじなみ会

「ふじなみ会」新幹事

新しく「ふじなみ会」幹事としてご協力いただくことになりました。
よろしくお願いいたします。

第73期生

1組	2組	3組	4組	5組	6組
石原 泉 長井 祐奈	井上 ほのか 姫路 梨奈	清谷 美里 三須 香凛	小田 実彩季 楠本 悠夏	桒原 未紗妃 松尾高茂	岡 夢 松田 明緒莉

第74期生

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組
大山 翔大	上森 翔茉	小林 琢斗	武輪 夏葉	藤本 滴	松本 佳寿音	池田 萌葉	堀本 遥奈

第75期生

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
井上 希雅	宮井 愛梨	阪本 優香 田中 香穂	田川 清瑞葉 龍見 奈々子	佐々木 祐城 元谷 優希	池内 美来 藤井 智穂	増田 録

第76期生

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組
荒木 結衣	松井 瑚々	中平 聖人	宮原 小波	越智 陽生	山根 久乃	上田 昌幸	山本 万里百

同窓生子弟子女・兄弟姉妹入学金特典

本校では、卒業生の子、孫、兄弟姉妹及び在校生の兄弟姉妹が入学する場合、**入学金半額免除**となります。また、兄弟姉妹が同時入学した場合(その内1名分)**入学金全額免除**となります。その他、特待生制度を設けていますので、お問い合わせください。

お問合せ先 TEL. 072(955)0718

ふじなみ会 収支報告書

●令和5年度

収支の部	支出の部	残高
9,941,239	9,941,239	7,545,110

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
前年度繰越金	7,749,151	データ管理費	0
ふじなみ会会費	2,170,000	クラブ活動全国大会出場祝金	0
資産運用収入	88	卒業式関連費用	188,800
雑収入	22,000	慶弔費	0
		通信費	0
		消耗品費	0
		役員交通費	6,339
		特別会計へ振替	2,200,000
		予備費	990
計	9,941,239	計	2,396,129
		次年度繰越金	7,545,110
合計	9,941,239	合計	9,941,239

訃報

先生方のご冥福を心からお祈りいたします
西川喜代子先生(令和2年9月22日)
担当教科…家庭科
長きに渡りご指導してください、沢山の卒業生を輩出されました。
宮本泰子先生(令和4年2月23日)
担当教科…保健体育
バレーボール部、テニス部の顧問の他、礼儀作法などいつも厳しく、
そして優しく接してくださいました。
河合須美子様(令和4年8月1日)
ふじなみ会前副会長
現在のふじなみ会を構築してください盛り上げてくださいました。会報ふじなみ第11号に文章を投稿してくださいました。会

編集後記

「ふじなみ」16号も会員の皆様のご協力の元、発刊することが出来ました。編集にあたり、記事等のご提供をくださいました会員様には感謝申し上げます。また、母校での総会にも沢山の卒業生が出席してくださいましたこと改めて役員一同感謝申し上げます。
2028年谷岡学園創立100周年を迎えます。私達卒業生も誇りに思い、今後、ふじなみ会も微力ながらも活動していきたいと思ひます。

同窓会へふじなみ会へ
役員紹介(令和5年度)

名誉顧問	谷岡 一郎
名誉会長	西本 真治
学校長	松田 裕史
教頭	勝本 優子
教諭	渡辺 望
事務長	
会長	嶋本 恵 (43期生 平成3年卒業)
副会長	上田 俊子 (26期生 昭和49年卒業)
副会長	羽田 幸子 (33期生 昭和56年卒業)
書記	松本 万理子 (44期生 平成4年卒業)
会計	伊藤 由香理 (45期生 平成5年卒業)
監査	松本 美智代 (27期生 昭和50年卒業)
監査	川内 栄子 (45期生 平成5年卒業)